甲斐国武士の道〜その一〜

凡例
- ■＝城跡、館跡、屋敷跡、烽火台跡、砦跡
- ■＝天正壬午の乱で徳川氏が使用した城跡
- ■＝天正壬午の乱で北条氏が使用した城跡
- ●＝寺院
- ●＝神社
- ●＝遺跡、石碑、墓、古戦場跡など

武田の軍道　棒道を歩く

棒道

逸見路

甲信の国境の要　武川へむかう!

佐久往還

穂坂路

武田氏最後の拠点

甲斐武田氏の始まりの地

時を超えた二つの城下町

「治水ノ難波」と「甲山の猛虎」ゆかりの地

天正壬午の乱のお城をめぐろう!

天正壬午の乱で、甲斐国内は徳川氏と北条氏との戦場になりました。徳川氏は新府城67や日ノ出城71、白山城80などに、北条氏は谷戸城8や獅子吼城49、若神子城40などに拠点を置きました。これらの城は見晴らしがよい場所や交通の要衝を抑える場所に造られています。新府城と若神子城などは互いに相手を監視できる位置にあり、現在もこれらの城に登ると、それぞれの城を見通すことができます。実際に登って、見晴らしのよい壮大な風景を眺めたり、当時の様子に思いを馳せるのも、お城めぐりの醍醐味です!

⑨ 白旗神社

白旗神社

巨石のご神体に自然石を積んだ多層塔が二塔立つ神社。逸見有義がこの地に白旗を埋めた後に神社として祀ったと伝わり、巨石を力強く踏むと太鼓をたたく音がするという。

⑫ 旭山塁跡

旭山塁跡

高根町を一望できる場所に建てられた砦跡。天正壬午の乱において、北条氏直と徳川家康が停戦した直後に氏直が造ったため、家康が怒り砦を放棄させた。砦の南側は横矢掛けや細長く続く土塁が明確に見られる。

⑲ 教来石民部館跡

教来石民部館跡

「鬼美濃」として恐れられた馬場信春の館跡と伝わる。馬場信春は、もとは教来石景政と名乗った教来石氏の一族である。発掘調査や地中レーダー探査により堀跡などが見つかっており、出土遺物から館があった時期は 14 世紀前半から 16 世紀中頃と考えられている。

⑳ 笹尾塁跡

笹尾塁跡

武田信虎が信濃との国境を強化するために築いた砦跡で、南側に大きな堀や土塁をともなう曲輪が残っている。北杜市指定史跡。釜無川を渡った対岸に鳥原城山がある。異常時には笹尾塁で鐘を鳴らすと鳥原城山で太鼓を打ったとされる。

㉔ 鎧堂観世音

鎧堂

十一面観音を崇拝する源義光は合戦の際にそのご加護を受け、十一面観音像を祀るお堂を建てた。併せて自身の甲冑を一式奉納したことから、鎧堂観世音と呼ばれる。武田信玄は信濃攻略の際にここで戦勝祈願した。

㊻ 屋代氏館跡

屋代氏屋敷跡

武田氏家臣の屋代勝永の居館跡。居館の周囲に築かれた土塁の一部が残っている。発掘調査では主屋、台所、馬屋と考えられる建物跡などが発掘された。当時の領主層の生活を知る上で貴重な発見となった。北杜市指定史跡になっている。

㊷ 大渡の烽火台跡

大渡の烽火台遠景

鳥井坂トンネルの上にある。頂上に主郭が造られ、主郭の西側に堀切があり、防御を意識して造られている。北杜市指定史跡になっている。

㉙ 龍岸寺

真田信伊の墓

北杜市指定文化財である真田隠岐守信伊の墓がある寺院。信伊により再興されたため、真田氏の家紋である六文銭を寺紋に掲げている。信伊は武田氏家臣であったが、武田氏滅亡後は徳川氏に仕え、主君である徳川家康と兄である真田昌幸の仲介役を務めている。新府城跡付近に信伊の屋敷跡と思われる隠岐殿遺跡がある。

㊵ 若神子城跡

若神子城跡（古城）

佐久往還や棒道が交差する交通の要衝を抑える重要な城である。城は北城、古城、南城に分けらる。古城は源義光の城とされ、北杜市指定史跡になっている。北城は天正壬午の乱で北条氏直が造った。現在はテニス場の南側に大きな堀切や張り出しをもつ土塁が残る。

㊹ 三嶋神社

三嶋神社拝殿

天文五（1536）年に武田信虎が佐久地方の武将である平賀玄信を攻める際にこの神社で休憩・戦勝祈願し、下馬札を与えたとされる。以来、武田氏が崇拝した。

㊾ 獅子吼城跡

獅子吼城跡遠景

15世紀初め頃に造られとされ、江草氏が使っていた。天正壬午の乱では北条氏が陣取り、徳川氏家臣の服部半蔵（正成）により制圧された。城の東側に空堀や石積みの土塁が残る。北杜市指定史跡になっている。

㊺ 比志神社

比志神社拝殿

大宝元（701）年に建てられ、日本三代実録に名のある古社。本殿は大永八（1528）年に再建され、室町時代の信州系大工の技巧が見られ、昭和40年に県指定文化財になった。境内の大杉は県指定天然記念物である。

㊿ 常光寺

常光寺青木氏歴代の墓

武川衆の一門、青木氏の菩提寺。寺の開基は二代目の青木常光であり、青木氏歴代の墓がある。墓は市指定史跡。

㊸ 扇子平城跡

扇子平城跡遠景

大輪寺81の奥に見えるけわしい山の尾根上にある城で、甘利氏の要害とされている。枡形虎口をもつ主郭があり、尾根の先端には烽火台と思われる平場がある。

㊶ 日ノ出城跡

日ノ出城跡

日ノ出城跡は穂坂路と逸見路の分岐点で、塩川によって削られた断崖上にあり、交通と防衛を意識した場所にある。武田信長に従った日一揆が使い、跡部氏や逸見氏などと戦った。韮崎市指定史跡になっている。

㊽ 南宮大神社

随身門

源義光が社殿を造営し、武田信義も崇拝した。武川衆全体で神社に奉仕した記録からも、武川衆の信仰を集めた。

㊼ 天澤寺

天澤寺山門

室町時代後半に飯富虎昌により建てた寺院。以後、飯富氏の菩提寺となり、境内には虎昌や武田四名臣である山県（飯富）昌景の墓がある。山門、六地蔵幢は県指定文化財に指定されている。

㊸ 慈照寺

慈照寺

寺記によれば、武田氏一門とされる諸角昌清の開基と伝えられる。山門や法堂は江戸時代初期に建てられたもの。慈照寺文書は武田信虎や信玄の時代の様子を知ることができる史料であり、これらは県指定文化財になっている。

㊼ 光照寺

薬師堂

永正七（1510）年に武田信虎により現在の双葉中学校付近に移され、とても栄えた。武田氏滅亡の際に戦火にあい、薬師堂以外すべて焼け落ち、江戸時代初めに現在地に移された。薬師堂は室町時代後期の特色を残していて国の重要文化財に指定されている。

㊷ 飯田河原合戦供養板碑

板石塔婆

飯田河原合戦は、大永元（1521）年に駿河（静岡県）の今川氏を武田信虎が迎え撃ち、大勝した戦い。信虎が合戦後に戦死者供養のために建立した板碑とされている。甲斐市指定文化財になっている。

㊾ 松元寺

松元寺

武田氏に仕えた大野主水が創建したと伝わる寺院。大野主水は湯村温泉郷を開いた人物で、本尊である観音菩薩像は「身代わり観音」として親しまれている。

㉑ 法泉寺

法泉寺

武田信武が創建した寺院で、後に信玄が甲府五山に指定した。境内の武田信武の墓と武田勝頼の墓は、甲府市指定史跡である。京都の六条河原でさらされていた勝頼の首をこの寺へ埋めて供養したと伝えられる。

㉕ 武田氏館跡

武田氏館跡

永正十六（1519）年に武田信虎が築き、信玄、勝頼と三代にわたる居館であり、今は武田信玄を祀る武田神社として親しまれている。現在も土塁や堀、門の礎石が良好に残るほか、発掘調査では、大手門跡や武田氏築城技術の特徴とされる丸馬出が見つかった。高麗青磁や金で装飾された馬のよろいなど武田氏の権力を示す資料が見つかっている。現在も調査が続いており、今後の成果が期待される。

㉗ 円光院

円光院

元は武田信守が父信重の菩提寺とした寺で、信玄が現在の地に移し、信玄の妻である三条夫人の菩提寺とした。裏手には三条夫人の墓が残っている。寺には信玄が陣中の守り本尊としていた木造刀八毘沙門天及び勝軍地蔵坐像（県指定文化財）が納められている。

㊲ 甲府城跡

甲府城跡

武田氏滅亡後に徳川氏または豊臣氏により築城された。城の範囲は現在整備されている範囲よりも広く、県庁やJR甲府駅までその範囲になる。山梨県内唯一の総石垣として、天守台や本丸などに築城時の石垣がよく残っており、自然面の石材を野面積みの技法で積み上げた貴重な築城期の石垣であることから、国の史跡に指定された。周囲には城下町が造られ、現在の甲府市街の原型となった。

㊱ 甲斐善光寺

甲斐善光寺

永禄元（1558）年、信玄が川中島の戦いの時に信濃善光寺が焼失するのを恐れて、この場所に善光寺を建て、如来座像を祀った。現在、本堂（重要文化財［建造物］）は東日本でも有数の規模で、銅造阿弥陀如来及両脇侍立像三躯（重要文化財［彫刻］）が本尊として崇められている。この寺には一時甲斐国を治めた加藤光泰の墓（甲府市指定史跡）もある。

㊴ 勝山城跡

勝山城跡

武田信虎の叔父、油川信恵の城とされている。その後、駿河の今川氏が侵攻した際に2度、さらに天正壬午の乱の時に徳川家康の家臣服部半蔵（正成）がこの城に陣を張っている。頂上の主郭を中心に三段の曲輪が造成され、その下部に帯曲輪がめぐる。

㉓ 恵運院

恵運院

武田信縄の菩提寺で武田氏の崇敬が厚い寺院。武田信玄が寄進した水晶の数珠や、武田信廉（逍遙軒）の画である県指定文化財（絵画）「絹本著色雪田和尚画像」などがある。

㊽ 要害山（要害山城・熊城）

要害山遠景

武田氏館跡P24の詰め城跡が残る。山頂部に主郭が造られ、その途中には枡形虎口や堀跡、石積みの門跡が残る。飯田河原合戦の時に信玄はこの城で生まれたと伝わる。

㊾ 宝積寺

駒井昌直の墓

武田氏家臣である駒井昌直が開基の寺院で、昌直自身の墓と伝わる五輪塔がある。

㊽ 湯村山城跡

湯村山城跡遠景

武田信虎により造られた城。周囲には土塁が巡り、土塁上には櫓が建っていたと考えられる。発掘調査では枡形虎口や、井戸が見つかっている。甲府市指定史跡になっている。

㊳ 大泉寺

大泉寺

武田信虎の菩提寺。お堂の裏手に宝篋印塔が三つ並び、それぞれ信虎、信玄、勝頼の墓とされている。寺には、信虎の三男である信廉（逍遙軒）が描いた重要文化財（絵画）である絹本著色武田信虎像など武田氏ゆかりの品々が多く納められている。

㊵ 尊躰寺

尊躰寺にある大久保長安の墓

武田信虎が建てた寺院。天正年間に徳川家康が陣屋をしいたともいわれている。寺には徳川氏の下で武田氏滅亡後に混乱した甲斐国の内政再建を担当した大久保長安の墓がある。

㊺ 源有雅の墓

源有雅の墓

源有雅は鎌倉時代の武将で、後鳥羽上皇が鎌倉幕府に対して起こした承久の乱では上皇側の武将として活躍した。しかし、敗れて甲斐源氏の小笠原長清により甲府市小瀬にて斬首された。小瀬団地の中に彼の墓と伝わる源有雅の墓（甲府市指定史跡）がある。

㊾ 金刀比羅山砦跡

敬泉寺から見た金刀比羅山砦跡

天正壬午の乱の際に徳川氏が使ったとされる。砦跡は山の尾根を堀切で区切って三つの曲輪からなる。この地は、駿河への街路である中道往還があり、街道の監視に適した土地である。

	名称	所在地	概要
1	六所神社	北杜市長坂町小荒間 1742	武田基義が建てた神社
2	法性（ほうしょう）寺	北杜市長坂町小荒間 749	武田信玄が信州の戦いの時に建立したと伝わる
3	北野天神社	北杜市小淵沢町 3349	武田信玄や徳川家康が土地を寄進した
4	義光山矢（ぎこうさんや）の堂	北杜市小淵沢町 2139	平将門討伐の時にご利益のあった観世音菩薩を源義光が勧請
5	旧平田家住宅	北杜市小淵沢町 7761-4	武田氏家臣の末裔と伝わる平田氏の住宅（国の重要文化財）
6	逸見（へみ）神社	北杜市大泉町谷戸 1128	甲斐源氏の一族である逸見氏ゆかりの神社
7	谷戸（やと）氏館跡	北杜市大泉町谷戸字御所	江戸時代の土豪の谷戸八右衛門の屋敷跡
8	谷戸城跡	北杜市大泉町谷戸字城山他	逸見義清が築城した城（国指定史跡）
9	白旗神社	北杜市大泉町西井出 8240-346	逸見有義が白旗を埋めたとされる神社
10	源太ケ（げんたが）城跡	北杜市須玉町上津金 2449-1	佐久往還を押さえる城（市指定史跡）
11	海岸寺	北杜市須玉町上津金 1222	源義光が信仰し、子の義清も多くの寺領を寄進した
12	旭山塁跡	北杜市高根町村山東割字古城跡	北条氏の未完成の城
13	古宮（ふるみや）城跡	北杜市下津金字御所	津金衆の城跡
14	金生（きんせい）遺跡	北杜市大泉町谷戸 105	深草館の外郭とされる遺跡（国指定史跡）
15	深草館跡	北杜市長坂町大八田	逸見氏家臣である堀内氏の居館跡（県指定史跡）と伝わる
16	小和田館跡	北杜市長坂町大八田字古屋敷	ほ場整備の発掘で見つかった、主が不明の館跡
17	石尊神社	北杜市白州町鳥原 3107	武田氏家臣である馬場信春が金を寄進した神社
18	鳥原城山	北杜市白州町鳥原万燈火山	教来石氏の要害
19	教来石民部（きょうらいしみんぶ）館跡	北杜市白州町鳥原字日向	武田氏家臣である馬場信春の居館跡
20	笹尾塁跡	北杜市小淵沢 754-1	武田信虎が造った対信州戦線の要の一つ（市指定史跡）
21	天白砦跡	北杜市長坂町中丸字小尾平	津金衆の一門の小尾氏の居城であったとされる
22	清光寺	北杜市長坂町大八田 6600	逸見清光の菩提寺で総門（市指定文化財）がある
23	熱那（あつな）神社	北杜市高根町村山西割 1714	武田氏が戦勝を祈願した神社で本殿（市指定文化財）がある
24	鎧堂観世音	北杜市高根町蔵原 1536	源義光が祈願した観世音菩薩がある寺
25	自元寺	北杜市白州町白須 1364	武田氏家臣である馬場信春の菩提寺
26	清泰（せいたい）寺	北杜市白州町花水 1461	甲斐源氏の逸見義清が開いた寺
27	中丸砦跡	北杜市長坂町中丸字城山	逸見清光の砦跡と言われ、後に北条氏が使ったとされる
28	穂見諏訪十五所神社	北杜市長坂町長坂上条 1461	武田信虎が始めた笥粥神事（市無形民俗文化財）が行われている
29	龍岸（りゅうがん）寺	北杜市長坂町長坂上条 1666	真田昌幸の弟である信伊の墓（市指定文化財）がある
30	深沢砦跡	北杜市白州町花水字押野	武田氏家臣深沢氏の砦という伝承がある
31	長閑（ちょうかん）屋敷跡	北杜市長坂町長坂上条	長坂釣閑斎（ちょうかんさい）光堅の屋敷跡（市指定史跡）
32	中山砦跡	北杜市武川町三吹 3037	武川衆の砦跡（市指定文化財）
33	柳澤寺跡	北杜市武川町柳沢 1539	六地蔵石幢（市指定文化財）が残る
34	柳澤氏発祥の地	北杜市武川町柳沢	武川衆の一門である柳澤氏の拠点地域
35	高龍寺	北杜市武川町山高 2480	武川衆の一門である山高氏の墓（市指定文化財）がある
36	幸橙（こうとう）神社	北杜市武川町山高 2529	山高氏ゆかりの神社
37	萬休院	北杜市武川町三吹 2915	馬場信春の子である馬場昌房が開基した寺
38	実相（じっそう）寺	北杜市武川町山高 2763	一条氏、山高氏の館跡。国指定天然記念物の桜がある
39	星山古城跡	北杜市武川町真原	柳澤氏の城跡とされている
40	若神子（わかみこ）城跡	北杜市須玉町若神子 2852	源義光が古城（市指定史跡）、北条氏が北城を築城した
41	大坪砦跡	北杜市高根町箕輪字大坪原	北条氏により築かれた砦
42	正覚寺	北杜市須玉町若神子 2739	源義清が父義光の菩提寺として建立した寺
43	大豆生田（まみょうだ）砦跡	北杜市須玉町大豆生田	天正壬午の乱の時に北条氏が造った砦があったとされる場所
44	三嶋神社	北杜市須玉町大蔵字宮久保 1561	武田信虎が信州での戦いの途中に戦勝祈願した神社
45	勝永（しょうえい）寺	北杜市明野町上神取 1091	武田氏家臣の屋代勝永の墓（市指定文化財）がある
46	屋代氏館跡	北杜市明野町上神取	武田氏家臣の屋代勝永の居館跡で土塁（市指定史跡）が残る
47	中尾城跡	北杜市須玉町小倉字中尾	絵図が残っており、大きな堀が付属した城
48	信光寺	北杜市須玉町東向 2679	武田信光の菩提寺と伝わる
49	獅子吼（ししく）城跡	北杜市須玉町江草 5340	江草信泰や北条氏が使用した城（市指定史跡）
50	見性（けんしょう）寺	北杜市須玉町江草 7772	江草氏の菩提寺
51	十五所神社	北杜市須玉町江草 11280	武田信意が建てた神社
52	大渡の烽火台跡	北杜市須玉町江草 16042	塩川の烽火台群の一つ（市指定史跡）
53	小森山の烽火台跡	北杜市須玉町江草字岩下	塩川の烽火台群の一つ
54	比志城跡	北杜市須玉町比志 3732-1	塩川の烽火台群の一つ（市指定史跡）
55	比志神社	北杜市須玉町比志反保 872	信州系大工の技術が残る本殿（県指定文化財）がある
56	前の山の烽火台跡	北杜市須玉町比志字前の山	塩川の烽火台群の一つ
57	神戸の烽火台跡	北杜市須玉町小尾字神戸西	塩川の烽火台群の一つ
58	和田の烽火台跡	北杜市須玉町小尾字和田	塩川の烽火台群の一つ
59	黒森の烽火台跡	北杜市須玉町小尾字黒森万燈火山	塩川の烽火台群の一つ
60	信州峠防塁跡	北杜市須玉町小尾	対信州のための防塁
61	長清（ちょうせい）寺	北杜市明野町小笠原 1205	甲斐源氏の小笠原長清の菩提寺
62	深山田（みやまだ）遺跡	北杜市須玉町大豆生田 961-1	中世の宗教関連施設の遺構から青銅製鏡（県指定文化財）が出土
63	宗泉（そうせん）院	韮崎市円野町上円井 3481	武田信玄家臣の山本勘助の供養塔がある寺
64	重久（しげひさ）の烽火台跡	韮崎市穴山町重久	烽火台があったと思われ、獅子吼城跡が見える
65	満福寺	韮崎市穴山町 1509	武田信武の子孫である穴山氏の墓（市指定文化財）がある
66	能見（のうけん）城跡	韮崎市穴山町	新府城の防塁
67	新府城跡	韮崎市中田町中條上野字城山	武田勝頼最後の本拠地（国指定史跡）
68	光明寺	韮崎市藤井町駒井 654	武田氏家臣の木曽義昌の息子千太郎らの墓（市指定文化財）がある
69	青木氏屋敷跡	韮崎市青木	武川衆の一門である青木氏の館跡
70	常光寺	韮崎市清哲町青木 2878	常光寺青木氏歴代の墓（市指定文化財）がある
71	日ノ出城跡	韮崎市穂坂町日之城	日一揆の拠点（市指定史跡）
72	神明神社	韮崎市穂坂町三之蔵 3333	日ノ出城と関わりが深く、武田氏家臣の小幡日城が修築
73	柳平烽火台跡	韮崎市穂坂町柳平城山	「新府城が焼けるのを眺めた」という伝承がある烽火台
74	若宮八幡宮	韮崎市若宮町 1 丁目 4-14	鎌倉時代に建立され、徳川家康が領地を安堵した神社
75	大坪古戦場跡	韮崎市富士見 1 丁目	武田信虎が信州の諏訪氏などに勝った戦場の跡
76	武田信義館跡	韮崎市神山町武田 556-2	甲斐武田氏の始祖である武田信義の館跡（市指定史跡）
77	願成寺	韮崎市神山町鍋山 1111	武田信義の墓と伝わる五輪塔（市指定文化財）がある
78	武田八幡神社	韮崎市神山町北宮地 1185	本殿（国の重要文化財）などがある武田氏ゆかりの神社
79	為朝神社	韮崎市神山町北宮地 1185	武田信義が源為朝を祀った神社
80	白山城跡	韮崎市神山町鍋山	武田信義の要害（国指定史跡）
81	大輪寺	韮崎市旭町 2990	武川衆の一門の甘利氏の菩提寺であり、以前は館が建っていた
82	八幡神社（甘利八幡）	韮崎市旭町上條北割 3884	武川衆の一門である甘利氏ゆかりの神社
83	扇子平（おうぎだいら）城跡	韮崎市大草町上条中割	武川衆の一門である甘利氏の要害
84	南宮大神社	韮崎市大草町上条東割 790	武川衆ゆかりの神社
85	八幡諏訪神社	甲斐市宇津谷 5734	享禄七年に武田信虎が本陣を置いた神社
86	諏訪大神社（穂坂惣社）	甲斐市宇津谷 1016	信玄が修理したときの棟札（市指定文化財）がある
87	光照寺	甲斐市岩森 1622	戦国時代の戦火をまぬがれた薬師堂（国の重要文化財）がある
88	諏訪神社	甲斐市竜地 5280-1	信玄の偉業をしのんだ武田不動尊が祀られた神社
89	平見城（ひらみじょう）の烽火台跡	甲斐市上菅沢平見城	天正壬午の乱の時に御岳衆が守った烽火台
90	福沢の烽火台跡	甲斐市神戸	蚕影（こかげ）山の平場が烽火台と伝わる
91	天澤（てんたく）寺	甲斐市亀沢 2609	飯富（おぶ）氏の菩提寺、県指定文化財の六地蔵石幢がある
92	飯田河原合戦供養板碑	甲斐市島上条 309	武田信虎が今川氏と戦い大勝した戦場の跡
93	慈照寺	甲斐市竜王 629-1	武田氏の一族の諸角昌清によって建てられたとされる寺
94	信玄堤	甲斐市竜王 1886-4	武田信玄が造ったという伝承が残る堤防跡
95	旧竜王河原宿石橋	甲斐市竜王	戦国時代に架けられた竜王河原宿（市指定文化財）の石橋
96	本妙寺	甲斐市篠原 139	飯富氏の家臣である三井氏の菩提寺とされる
97	篠原墓址	甲斐市篠原 2319	飯富氏の家臣である三井氏の館跡とされる場所
98	榎俣遺跡	甲斐市篠原 4207	中世の五輪塔が見つかった遺跡
99	飯富（おぶ）氏屋敷跡	甲斐市西八幡	飯富氏の屋敷跡
100	八幡神社	甲斐市西八幡 918	地域の由緒ある神社で、躑躅ヶ崎に勧請された
101	御岳の城山跡	甲府市御岳町天狗山	御岳衆の烽火台の一つ
102	猪狩（いかり）の城山跡	甲府市猪狩町城山	御岳衆の烽火台の一つ
103	川窪の城山跡	甲府市川窪町城山	甲府防衛の一環の物見台
104	平瀬の烽火台跡	甲府市平瀬町城山	甲府防衛の一環の物見台
105	太良（たら）峠烽火台跡	甲府市上積翠寺町嵐	甲府防衛の一環の物見台
106	要害山	甲府市上積翠寺町	武田氏館跡の要害（国指定史跡）
107	積翠寺	甲府市上積翠寺町 984	武田信虎の妻大井夫人が信玄出産の時に使った産湯の井戸がある
108	一の森烽火台	甲府市上積翠寺町字一の森	甲府防衛の一環の烽火台
109	長宝寺	甲府市下積翠寺町 108	武田義信や駒井氏の屋敷が付近にあったとされる
110	宝積寺	甲府市下積翠寺町	武田氏家臣駒井高白斎（こうはくさい）の息子昌直の墓がある
111	鐘推堂（かねおしどう）山物見	甲府市塚原町鐘推堂山	甲府防衛の一環の物見台
112	恵運院	甲府市塚原町 828	武田信虎の祖父である武田信昌の菩提寺
113	不動が崎物見	甲府市下積翠寺町	甲府防衛の一環の物見台
114	武田竜芳供養塔（聖遺墓）	甲府市古府中町	武田信玄の次男である武田竜芳の墓と伝わる
115	小松山烽火台	甲府市小松町小松山	甲府防衛の一環の烽火台
116	和田の城山跡	甲府市和田町八王子山	甲府防衛のために築かれた烽火台
117	法泉寺山の烽火台跡	甲府市和田町	甲府防衛のために築かれた烽火台
118	湯村山城跡	甲府市湯村町城山	甲府防衛のために築かれた城（市指定史跡）
119	松元寺	甲府市湯村町 3 丁目 17-8	武田氏家臣で湯村温泉郷を開発した大野主水が建てた寺
120	関屋	甲府市湯村町	佐久往還や穂坂路の通り沿いで甲府への入り口にあたる場所
121	法泉寺	甲府市和田町 2595	武田信武と武田勝頼の墓（ともに市指定史跡）がある
122	万寿森古墳	甲府市湯村 3 丁目 8-41	武田氏や徳川氏の火薬庫として使われた古墳（県指定史跡）
123	古八幡神社	甲府市古府中町 1529	武田信光が石和に建て、武田信虎が武田氏館跡付近に移し、武田氏が代々崇めた。その後、甲府城築城に伴い現在地へ移された
124	甲斐惣社八幡宮	甲府市宮前町 6-47	当時、躑躅ヶ崎館と呼ばれた武田氏三代の居館（国指定史跡）
125	武田氏館跡	甲府市古府中町 2611	武田信玄が風景を楽しむための東屋が建てられていた場所
126	躑躅ヶ崎（つつじがさき）遊亭跡	甲府市古府中町	武田信玄の妻の三条夫人の墓（県指定史跡）がある寺
127	円光院	甲府市岩窪町 500	武田信玄の死後、遺体を３年間隠すため最初に置かれた場所
128	武田信玄火葬塚	甲府市岩窪町 217	武田氏滅亡後領主である河尻秀隆の墓（市指定史跡）がある
129	河尻塚	甲府市岩窪町 265	武田氏館跡の要害（国指定史跡）
130	茶道（ちゃどう）峠の烽火台跡	甲府市岩窪町	甲府防衛の一環の物見台

	名称	所在地	概要
131	御崎神社	甲府市美咲 2-10-34	武田信虎により笛吹市から移され、徳川の時代に現在地へ移った神社
132	梅屋敷天満宮	甲府市天神町 14	元上杉氏家臣で武田氏家臣になった大熊朝秀の屋敷跡
133	大泉寺	甲府市古府中町 5015	武田信虎の墓（県指定史跡）がある
134	妙遠（みょうおん）寺	甲府市元紺屋町 83	山県昌景が開いたとされる寺
135	愛宕神社	甲府市愛宕町 134	武田氏館跡を守護する神社で、徳川家康が甲府城の鬼門へ移した
136	能成（のうじょう）寺	甲府市東光寺町 2153	元は笛吹市にあった武田信虎の菩提寺
137	甲府城跡	甲府市丸の内 1-6-1	徳川氏と豊臣氏により築かれた城（国指定史跡）
138	長禅寺	甲府市愛宕町 208	武田信虎の妻大井夫人の墓がある寺
139	来迎（らいごう）寺	甲府市東光寺 1 丁目 3-38	武田信玄が北条氏に援軍を送ったお礼としてもらった阿弥陀像がある
140	尊躰（そんたい）寺	甲府市城東 1-13-1	徳川氏家臣で内政で権勢を持った大久保長安の墓がある寺
141	教安（きょうあん）寺	甲府市城東 2 丁目 8-4	徳川家康の八男仙千代の菩提寺
142	信立（しんりゅう）寺	甲府市若松町 6-8	武田信虎が病気の回復を祈り、回復したため建てた寺
143	一蓮（いちれん）寺	甲府市太田町 5-16	元は甲府城の場所に一条忠頼が建てた寺
144	遠光（おんこう）寺	甲府市伊勢 2 丁目 2-3	甲斐源氏の加賀美遠光が建てた寺
145	東光寺	甲府市東光寺 3-7-37	武田義信や諏訪頼重の墓がある寺で仏殿（国の重要文化財）がある

	名称	所在地	概要
146	甲斐善光寺	甲府市善光寺 3-36-1	信濃善光寺から本尊を移した寺、加藤光泰の墓（市指定史跡）がある
147	地蔵塚古墳	甲府市善光寺町	古墳であるが、小山田信茂の墓とも伝わる
148	板垣山の烽火台跡	甲府市酒折町	板垣山にある烽火台跡
149	逍遙（しょうよう）院	甲府市桜井町 999	武田信虎の三男である信廉（逍遙軒）の菩提寺
150	川田館跡	甲府市川田町	躑躅ヶ崎館に移る前の居館
151	源有雅（みなもとのありまさ）墓	甲府市小瀬町 99	承久の乱で処刑された源有雅の墓（市指定史跡）がある
152	今井肥後守墓	甲府市上今井町 2577	信虎に最後まで抗った今井信元の墓、富春院にある
153	高室家住宅	甲府市高室町 754	武田氏家臣の高室氏の屋敷跡（国の重要文化財）
154	勝山城跡	甲府市上曽根町 2248	武田信虎の叔父の油川信恵の拠点とされる城
155	下曽根氏屋敷跡	甲府市下曽根町 161	武田信重の子貽範の子孫下曽根氏の屋敷跡、現在は実際寺の境内
156	向山氏屋敷跡	甲府市上向山町	地元の豪族と伝わる向山氏の屋敷跡、現在は清源寺の境内
157	敬泉（けいせん）寺	甲府市右左口町 64	徳川家康が兵士のために仮小屋をたてた寺
158	右左口（うばぐち）砦跡	甲府市右左口町	天正壬午の乱の時に使われた徳川氏の砦
159	金刀比羅（こんぴら）山砦跡	甲府市右左口町	天正壬午の乱の時に使われた徳川氏の砦
160	土橋大内蔵屋敷跡	甲府市古関町	上九一色衆の土橋氏の屋敷跡及び石廟